opusdei.org

仕事の聖化とは (IV)

2023年2月、ローマにて行われた属人区長フェルナンド・オカリス師による仕事の聖化についてのクラスの内容を連載します。

2024/04/15

これまでのクラスの内容

奉仕とチームワーク

人間の仕事の全体は奉仕であること を考えると、この教えの別の重要な 側面に光が当たります。私たちの仕事と他の人の仕事との間の依存関係を思い出すべきです。なぜなら、常にと言わないまでも頻繁に、明確でない形で、私たちの仕事は他の人の仕事に依存しているからです。そして同様に他の人の仕事も私たちの仕事に依存しています。私たちの仕事は鎖のように連結しています。

それゆえ、他の人の仕事が私たちの 仕事に依存しているとき、他者の仕 事を容易にすることは重要です。多 くの場合そのように言えます。チー ムで仕事をする場合、それは明白で すが、家庭における自己の役割な ど、日常生活においてもそのように 言えます。例えば、家庭における自 己の役割を予定どおりに行うこと は、他の人が彼らの役割を予定どお り行えるかどうかに影響を与えま す。このように人と人は鎖のように 連結しており、それを無視すること

はできません。「私は自分の仕事に 集中し、他の人の仕事はどうでもい い」と考えるわけにはいきません。

良い仕事の一つの要素は、自分の仕事が他者の仕事にどのような影響を与えることです。ですることでする、他者の仕事を容易にするる、他者の仕事を遅らせれるとも、仕事を遅い仕事によってるといいようにはなりません。

もう一つの側面は、仕事の部分を構成する人間関係の聖化です。仕事を容易にすることは重要ですが、同じく、気持ちよく仕事ができるようにすること、奉仕の精神を大切にすること、他の人の仕事が終わらないとき、彼らに申し訳ない思いをさせない形で、その仕事を代わりにやって

あげることも重要です。創立者のパドレは次の点を強調しました。ある人が仕事を終わらせられないとき、可能な限り、本人に気づかないように、その人の仕事を助けます。仕事における兄弟愛は聖化の一部です。なぜならすべての人の生活は繋がっているからです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/shigoto-no-seika-towa4/(2025/11/22)